

2022

夏号

皆様と共に考え行動し… 市民に開かれた京都市政を!

京都市議員

田中 あきひで ニュースレター

発行者  
田中 あきひで  
発行責任者  
稲生 茂一

初夏の候 皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。  
「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻」が長期化しています。ウクライナの首都であるキーウ市と本市は1971年の姉妹都市提携以降、市民や関係団体を中心に様々な交流を積み重ね、相互理解と友情をはぐくみ、昨年度は提携50周年という節目を迎えました。市役所前広場の友好の小路にはキーウ市から寄贈された「友好記念碑」があり、一日も早い終息を願い献花台を設置したり、人道支援や文化・生活の復興支援の寄付金を送金させていただきました。市議員による義援金(100万円)及び京都市役所職員による寄付金(約230万円)を含む総額60,799,548円を5月13日に第1回目としてキーウ市に送金いたしました。一刻も早く平和が取り戻されることを心から祈念いたします。

またコロナによるまん延防止等重点措置が3月21日に解除されました。一步ずつ通常の生活を取り戻しつつあります。今年度の一般財源収入は、令和元年度の一般財源収入に近い水準の4,415億円が見込まれています。この結果、収支不足額は117億円に、これを補てんする特別の財源対策のうち、公債償還基金の計画外の取崩しは56億円(前年度は181億円の取崩し)にそれぞれ圧縮できる見込みです。しかし基金の取崩しは続いており、更なる歳入・歳出の構造改革は必要です。事業の見直し、委託化等による職員数の削減、徹底的な働き方改革による時間外勤務の縮減、臨時的な給与カットは引き続き継続してまいります。(議員は15%、市長は30%、副市長は15%、局長級6%、以下係長級2.5%まで段階的に削減しています。)



情熱・対話・行動!

また歳入面では、苦戦していたふるさと納税も令和3年度は寄附額52億円(令和元年度比の約20倍)となり、引き続き取組を強化してまいります。これらと事業の見直し等を含めて、令和4年度予算は最初に編成した予算として計画の試算を上回って収支が改善されました。令和5年以降も行財政計画の着実な達成に全力を挙げ、公債償還基金枯渇の危機を確実に回避していかなければなりません。

議長の大役も2年目に入ります。世界に誇れる魅力溢れる京都を未来へ繋ぎ、市民の皆様の命と安全・安心な暮らしをしっかりと守るべく全力を尽くしてまいります。地元西京の芸大の跡地活用や小中一貫校の整備、西京区役所の総合庁舎化等、諸課題も着実に前に進めてまいります。「情熱・対話・行動!」引き続きのご指導・ご支援をお願いいたします。

京都市議員

田中 あきひで 事務所

〒615-8227 京都市西京区上桂宮ノ後町38-2 田中ビル3F  
TEL 075-204-6128 FAX 075-205-1508  
E-mail tanaka\_akihide@nike.eonet.ne.jp  
URL http://tanaka-akihide.com/



Facebook・Instagram  
を開いています。  
ぜひご覧ください。

市議会報告

# 西京区総合庁舎整備事業について

●新庁舎は、UR 都市機構賃貸住宅と合築となっている現区役所庁舎の有効活用を図りつつ、東隣の上下水道局西京営業所跡地とその南側の現区役所立体駐車場跡地を活用し、2期に分けて整備を行います。

新庁舎のコンセプトは、「安心・安全」「交流促進」「優しく快適」の実現です。



西京区マスコットキャラクター  
にじぎょう・たけにょん



△北より見る



△北西より見る



△1階待合



△区民交流ロビー

## 西京区総合庁舎整備事業第1期工事の今後の想定スケジュール

令和4年4月	工事入札公告
6月	仮契約
7月	工事契約議案提案
8月	着工
令和5年末頃	竣工
令和6年1月頃	供用開始

●また、第2期工事についてはUR都市機構との土地賃貸借契約期限（令和20年10月まで）を踏まえると、1期目の庁舎整備終了から2期目の庁舎整備開始まで相当程度の期間が空くことになるため、区民のニーズや社会情勢の変化を十分見据えたうえで検討していくこととなります。



# 西陵中学校区小中一貫教育校 創設に向けた取組について

## 1. 学校統合に至る背景とこれまでの経過

西陵中学校区(竹の里小・福西小・西陵中)で児童生徒数の減少が進み、竹の里小学校では全学年が単級(1学級)となる中、「クラス替えができない」「多様な考えに触れる機会が少ない」といった課題の解消に向けて、平成28年5月以降、3校のPTA・学校運営協議会や竹の里・福西の両地域において、子どもたちのより良い教育環境の在り方に関して検討が進められました。

令和元年5月に両地域合同の「西陵中学校区小中一貫教育校創設準備会」が設置され「2小学校を統合し、西陵中学校と合わせて、小中一貫教育校(施設一体型)の創設を目指す」ことで合意。同年7月31日に、統合要望書が教育委員会に提出されました。

要望書提出後、上記準備会を引き継いだ「西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会」が発足され、新校舎の整備や教育構想、通学路の安全対策の検討など開校に向けた準備が進められています。

## 2. 今後の予定

両地域の児童生徒が通う通学路の安全対策について、PTAを中心に創設協議会で検討を進め、安全確保に向けた関係機関への要望等を行っており、令和4年度からは竹の里小学校と福西小学校が一次統合されています。

- 令和4年度 福西小学校解体、新校舎設計業務、新校名検討、新標準服選定  
※本年5月定例会において379,500,000円の予算が計上されました。
- 令和5年度 新校舎建設工事(福西小学校敷地)、教育構想の検討、校歌・校章検討
- 令和6年度 新校舎建設工事、教育構想の検討、竹の里小・西陵中学校閉校
- 令和7年度 小中一貫教育校開校

## 3. 新校舎のイメージ

新校舎のテーマを「児童生徒・教職員・地域みんなの学びと交流のシンボル」とし、「健やかに育み、学ぶ交流の学び舎」「地域とつながる開かれた学校」「木の温もりを感じる心地よい学習環境」を目指した設計業務を進めています。

※現在、設計期間中のため、デザイン等は一部変更する場合があります。



【南東から見る新校舎の外観イメージ】



【木の温もりを感じる3階普通教室】



【総合メディアルーム(学校図書館)】



活動報告

# 4年 京都市はたちを祝う記念式典

主催/京都市・京都市教育委員会・ユ

令和4年京都市はたちを祝う記念式典  
(令和4年1月10日)



京都市スポーツ大賞  
(皇后杯第40回全国都道府県対抗  
女子駅伝 京都府チーム優勝)  
(令和4年1月17日)

2月定例会本会議  
(令和4年3月1日)



キーウ市から寄贈された友好記念碑前での献花  
(令和4年3月2日)

市会議長記者会見  
(令和4年3月25日)



ビタリ・クリチコ キーウ市長とのオンライン会談  
(令和4年4月6日)



上下水道局総合庁舎完成内覧会  
(令和4年4月15日)



雨庭構造見本庭園寄付受納式及び除幕式  
(令和4年5月10日)